

請願第2号

星田北エリアの内、星田北地区を「人が集まり活気のあるまち」にし、駅北地区で、星田高田線を存続させることを求める請願について

平成31年3月8日付けをもって、請願者 XXXXXXXXXX から提出されたみだしの請願は、同日受理したので、これを付議する。

平成31年3月27日

請 願 文 書 表

受 理 番 号	請願第2号
受 理 年 月 日	平成31年3月8日
請 願 の 件 名	星田北エリアの内、星田北地区を「人が集まり活気のあるまち」にし、駅北地区で、星田高田線を存続させることを求める請願
請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	[REDACTED]
請 願 の 要 旨	<p>現在、星田北エリアにおいて、「星田北地区」と「駅北地区」の2か所で土地区画整理を用いたまちづくりが行われている。</p> <p>しかし、「星田北地区」では、当初言われていた「にぎわいのあるまちづくり」「コンパクトシティのリーディングゾーン」とはほど遠く、誘致されたのは運輸企業で倉庫のまちになろうとしている。倉庫のまちになってしまうと、昼夜24時間大型・小型トラックが行きかい、全国各地でも騒音・振動・排気ガス・長時間駐車の問題が発生し、近隣の住民にも迷惑をかける事態がおこっており、とても「人が集まり活気のあるまち」とは言えない。星田駅から約400mしか離れておらず、しかも住宅地の近隣に倉庫誘致はふさわしくない。藤が尾地区ではすでに商業施設など「人が集まり活気のあるまち」が始まっている。星田北地区を「人が集まり活気のあるまち」にすることを求める。</p> <p>更に、「駅北地区」では、朝夕に多くの市民が通勤・通学などに使っている市道星田高田線が、途中で車の通れない廃道にされようとしている。廃道になって心ならずも立ち退きを迫られている星田高田線沿道の住民がいる。実際「星田北地区」では、星田高田線の存続が決まっている。「駅北地区」でも、星田高田線を存続させることを求める。</p> <p>また、星田高田線を廃道にしてすぐ西側に新道「星田駅前線」をつくり、枚方市内に延長したその建設費用まで交野市が負担するとしている。その結果、交野市の負担は30億円にまでふくれあがろうとしている。交野市は、多額の市債が残っており、更なる30億円以上の負担は市民生活を圧迫するものとなる。また市費30億円の9割が市債による借金とすることは将来世代に負担を残すことになり、市民負担を減らすべきである。</p>
紹 介 議 員	松村 ひろ子